

## 事業活動と環境負荷の状況 (2010年度)

下図は、グループ会社での資源や資材の投入から、事業活動を経てどのような環境負荷が発生しているかを表したものです。今後も、この現状を踏まえ、更なる環境負荷低減に努めていきます。

### 資源投入量

・電力量 <sup>※1</sup> .....	243.0 百万kWh	・熱(蒸気など) .....	45.7 百万MJ
・燃料 <sup>※2</sup> (軽油、ガソリン、A重油など) .....	8.5 千kl	・コピー用紙 .....	130.2 百万枚
(LNG、LPGなど) .....	1.9 千トン	・PRTR法指定化学物質取扱量 .....	129.9 トン
・水 .....	4.3 百万トン		

### INPUT

### 事業活動



エネルギー関連  
事業



情報通信  
事業



環境・リサイクル  
事業



生活サービス  
事業

#### 環境活動

・環境目標管理  
・省エネ、省資源推進

・温室効果ガス排出抑制  
・規制対象フロン排出抑制

・リサイクル推進  
・グリーン調達推進

・大気汚染物質排出抑制  
・環境教育の実施

・温室効果ガス排出抑制量 <sup>※3</sup> .....	19.3 千トン-CO <sub>2</sub>	・産業廃棄物リサイクル率(量) .....	94 % ( 97.2 千トン)
・規制対象フロン回収実施率 <sup>※4</sup> .....	100 %	・古紙リサイクル率(量) .....	96 % ( 0.9 千トン)
・SO <sub>x</sub> 排出低減量 <sup>※5</sup> .....	8.3 千トン		
・NO <sub>x</sub> 排出低減量 <sup>※6</sup> .....	2.0 千トン		



詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P13参照) 温室効果ガス排出抑制量 (グループ会社)

### OUTPUT

### 環境負荷量

・温室効果ガス排出量 <sup>※2</sup> .....	137.5 千トン-CO <sub>2</sub>	・PRTR法指定化学物質排出量(大気) .....	32.8 トン
・オゾン層破壊物質排出量 <sup>※7</sup> .....	3.7 ODPトン	・産業廃棄物処分量 .....	6.4 千トン
・SO <sub>x</sub> 排出量 .....	1.7 千トン	・古紙処分量 .....	0.04 千トン
・NO <sub>x</sub> 排出量 .....	2.4 千トン		

※1: 発電所内電力量等を除く購入電力量を計上。 ※2: 電力会社等への販売電力量分(発電用燃料及びその燃焼に伴う排出量)を除く。

※3: 新エネルギー等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。

※4: 点検時において法令基準レベル(撤去時における法定圧力)までガス回収を実施した機器の割合。

※5: ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※6: ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。 ※7: 各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11重量相当に換算。

#### 環境活動実績 (P40~P44) 集約の考え方

- 各環境活動実績は、集計対象のグループ会社(下表)のうち、実績を把握可能なすべての会社の集計値です(九州電力は含まず)。

#### 環境活動実績の集計対象

2008年度	グループ環境経営推進部会 全48社
2009年度	グループ環境経営推進部会 全50社
2010年度	グループ環境経営推進部会 全52社

- 四捨五入の関係上、合計値及び百分率が合わないことがあります。
- 購入電力に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、国から公表された「電気事業者別二酸化炭素排出係数」を用いて算出しています。